

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	放課後等デイサービス はびねす		
○保護者評価実施期間	2025年11月24日 ～ 2025年12月5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年11月24日 ～ 2025年12月5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	午前の個別療育に加えて、希望があれば午後からの放デイも経験ができる。	小学校入学後のスムーズな移行に繋げられるように、祝日や放課後の時間に年上のお兄さんお姉さんと関わる機会を設けている。	室内や運動場での関わりだけではなく、公園活動等外部で活動する機会も増やしていきたい。
2	常勤として保育士の配置をしている。	利用者の発達や現状を考慮した療育プログラムを保育士の知識や経験をもとに考案している。	保育士、管理者、児童指導員と様々な視点から意見を出し、支援を行う。
3	室内だけではなく、運動場も活用することで様々な分野の活動に挑戦することが出来る。	工作や座学のプログラム、キャッチボールや追いかけてっこ等様々な分野に取り組むことで利用者の長所をや可能性を伸ばせるようなプログラムを考案するようにしている。	時折、外出をする等校外学習の要素も取り入れることで職員と1対1での関わり以外の場を設けることも視野に入れている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パニックを起こしたときの静養室がない。	部屋の構造の関係等により、作成が難しいのが現状である。	2階の部屋が利用出来るため、有効活用していく。
2	室内の角や運動場の枠組みのつなぎ目等ケガをする可能性がある場所が見受けられる。	コーナークード等でケガのリスクを減らせるよう努めているが部屋の構造上角を完全に排除することが難しい部分がある。	角を守ることが出来る場所は出来る限りカバーをする。
3			